

発災から3ヵ月～生徒のメッセージから生まれた奇跡～

「キット、大丈夫！ キット、なんとかなる」

令和6年1月9日（月）、能登半島地震により休校する中、被災した生徒たちが自習できるようにと校舎を開放した際に、大学入学共通テストを目の前にした3年生が廊下のホワイトボードに書いた寄書きの一つです。

その日の夕方、教室で自習する生徒たちの様子とともに、このメッセージが報道されたところ、本校の生徒たちをぜひ応援したいと動いてくださった方々がいらっしやり、ついに3月29日（金）、金沢でのAIさんのライブに本校の親子約100名がご招待いただくということになりました。

その時の感激と感謝の気持ちが生徒たちから寄せられましたのでご紹介いたします。掲載を通して、AIさんとお世話くださった皆様（ネスレ日本株式会社、株式会社ソロモンアイアンドアイプロダクション、特定非営利活動法人東北関東大震災支援隊本部BOND&JUSTICE、災害NGO結の皆様）へのお礼の気持ちと生徒たちが元気に前を向いて進んでいることをお伝えしたいと思います。

このほかにも、引き続きたくさんの方からご支援を賜っており、心より感謝申し上げます。

本日、新年度を迎え、新しい体制で始業式・入学式を迎える準備をしております。能登の復旧・復興、高校生活の充実に向けて取り組んでまいりますので、何卒よろしく願いいたします。

令和6年4月1日
石川県立七尾高等学校
校長 樋上 哲也